

第6回 本, 書店, 図書館にまつわる
エピソード大賞

大賞

春休みの図書館で

ますだ ゆうこ
栴田 祐子さん

今から 30 年くらい前、若い教員の年度末は今よりずっとゆったりした期間だった。児童が春休みの 3 月末、そろそろ自分も何か専門性を身に付けたいと思い立ち、県立図書館に通って音楽教育に関する本を読み始めた。一冊読むと枝葉のように次々と読みたい本につながっていく。図書館だとすぐ手に取れるため、興味は尽きない。そんな中で偶然見つけた一冊の本。自分の中の音楽観が一気に広がった。初めて著者に会いたいと思い、手紙を書いて実際に訪ねた。それまではただ単に好きな音楽でしかなかったけれど、知れば知るほど他の芸術や歴史、世界の民族の暮らしや思想などとの関連に気づき、自分の世界が広がっていった。そして、その縁は様々な人たちとの出会いももたらした。あの春、図書館で起こったことは、自分にとって初めてのセレンディピティ。一冊の本との出合いで人生が大きく変わることもある。これからも、若い先生たちに伝えていきたいと思っている。